

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホーム エルダー介良

ユニット名 3階

自己評価実施年月日 平成 19年 7月 20日

記録者氏名 高橋 二美

記録年月日 平成 19年 7月 25日

自己評価票

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|---|------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | ○ | 今まで以上に具体的に地域との結びつきを計画し結びついていく。 |
| 2 | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | ○ | 行動目標を月単位で評価し、目標達成にむけ、努力していく。達成できれば、1年ごとに新しく目標を立てていく。 |
| 3 | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p> | ○ | 年2回の家族会で、理念についてふれ説明する。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | ○ | 地域に出向く機会をつくり、積極的に触れ合う場をつくっていく。 |
| 5 | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | ○ | 町内会の活動計画に参加し交流の場を広げている。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|------------------------|---|
| 6 | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | ○ | <p>現在は、町内のゴミステーションを設置し、協力しているけど、今後は、掲示板の設置や町内会とよりいっそうの連携を深めさらに、地域に貢献して行きたいと考えている。</p> |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | ○ | <p>今までのやり方を継続し、職員が評価し、その意義について、理解を深め今後も取り組んでいく。</p> |
| 8 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | ○ | <p>会議のたび、次回の会議で意見を出して頂けるよう要望する。地区の町内会長に運営推進会に参加して頂けるよう働きかけ、よりいっそう地域との交流をめざす。</p> |
| 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | ○ | <p>今後については、各種書類の提供を捉え、高知市担当者との連携を深めていく。</p> |
| 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | ○ | <p>本人の希望や現状を相談していく。</p> |
| 11 | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p> | ○ | <p>高齢者虐待防止関連法にあたるケースがあれば監督官庁と連携をとるようにしていく。</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 見学時や書類の手続きの経過の中で十分に説明をしながら、ご家族や本人の意向を聴いて対応していく。 | ○ 現状で特段の問題はないが、理念に基づいて、利用者家族が納得して頂ける説明をしていく |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情、相談、意見を言えるように、各ユニットに表示している。玄関には、苦情箱を設置している。 | ○ 利用者本人の意見、不満、職員並びに、外部に表せる機会を話し合い検討していく。 |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 身体精神面等の変化や預かり金から購入した商品名と領収書と残金について細かく記載し、職員の異動についても家族会や手紙や面会時にも説明している。面会時、金銭出納帳に確認のためサインを頂いている。 | ○ 家人の協力や理解が必要なので、必要に応じて説明する |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会等、なんでも言えるような雰囲気づくりをしている。職員は、家人との会話の中で聞き取っている。 | ○ お便りや家族会を通じて、再度意見や不満が言えるようにしていく |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ミーティング等職員の意見を聞き運営者とも密接に連携をとるようにしている。 | ○ 運営者は、職員から意見を聞く機会をつくっているが、今後は、更に増やすようにしていく。 |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 利用者や家族の状況の変化に合わせた柔軟なローテーションを組んでいる。 | ○ 平成19年度から各ユニットの人員を増加したが、今後は、人員増加が利用者のサービスにより、有効に働くよう今後も必要に応じて、勤務体制を調整していく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|--|
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 各ユニットの定着率がいいが、異動も最小限に留め利用者へのダメージを最小限に防ぐように配慮している。 | ○ | 異動離職を最小限に抑えるための対応を行なっていく。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 年計画を立て、職員の習熟度に合わせ研修をうけている。フロアで研修内容について、再度勉強会を開き、職員が理解できるようにして研修レポートを提出している。母体の高知鏡川病院から講師を招き、新人研修やテーマを決め勉強会を開いている。 | ○ | 研修を受けるたびに勉強会を開き、認知症を理解し職員の意識の向上に努めていく。 |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 高知県グループホーム連絡協議会に入会し、集会や研修を通じて、互いの情報交換を行なっている。 | ○ | 施設間の相互訪問の機会を増し、他事業所の良い点を積極的に取り入れたいと考えている。 |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 職員の親睦会だけでなく、日々の問題点について、運営者に直接連絡が取れる体制をとっている。 | ○ | 各職員のプライバシーに配慮しながら、あらゆる機会を捉えて、職員に対する理解を深めてゆく。 |
| 22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 職員の資格取得を奨励するだけでなく、事務長、看護部長等指導的立場の者が、各自の職能評価を多面的に行なっている。 | ○ | 管理者だけでなく、職員全体がレベルアップできるよう努めていく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 入院している病院に出掛け、病院関係者や本人からも時間をかけて、聞き出すことができた。 | ○ 少しでも、不安の解消に努めていく。 |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 利用について、相談があるときは、見学に来て頂き心身上の不安を聞き、困っていること、求めている事等、よく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | ○ 時間を取り家人の困っている事や求めている事を十分聞いた上で相談に乗っていく |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談時に詳しく情報を、収集し適切なサービスを見極め必要に応じて、他のサービス機関へつなげていく。 | ○ 地域包括センターと連携ができています。地域のケアマネジャーとも連携していきたい。 |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 見学時には、利用者や職員をまじえて、ホームでの生活を体験している。入居されても馴染みの関係が築けるようにしている。 | ○ 見学中に入居希望の方だけを、他入居者と一緒に過ごして頂き不安な表情や戸惑っていないか、上手くコミュニケーションが図れているか状態の確認し家族と相談しているがさらに状況把握に努める。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 支援すると言うかたちではなく、人生の先輩として、教えてもらい成長させてもらっている。早出勤務時、「早くからご苦労様」と声を掛けてくれる。畑に植える作物の作り方を昔を思い出しながら説明をうける。畝の使い方や畝の作り方を教えていただくと言う気持ちで聴いている。 | ○ 状況を設定しながら、入居者がいきいきとした姿をつくり出していく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---|
| 28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 妄想、夜間せん妄の症状がある入居者に対して、家人の思い職員の思いを話し合い、担当医にも相談している。入居者に落ちついた生活を送って頂くため、時間がゆるす限り面会に来て頂きゆっくり過ごして頂いている。状態の変化を説明するだけでなく、確認してもらっている。 | ○ | 家人の負担にならないよう配慮しながら職員と家族が入居者を支えていく関係を作り出す。 |
| 29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 面会時や手紙の中に、入居者の思いや状態を伝えている。月1回の病院受診時、家人と過ごし、心身を状態を確認してもらっている。写真付きはがきを準備し家人や友人に送っている。 | ○ | 入居者の思いを家人に理解して頂けるよう、また、家人の思いも理解し無理しないよう配慮しながら伝えていく。 |
| 30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 大丸での買い物をかねて、昔勤めていた、都まん本舗に出掛け、店主や店員と会話を楽しんでいる。天理教の方の訪問、保育園の園長先生時代の職員の訪問、関係が途切れないよう支援している。 | ○ | いつも気軽に訪問できるよう働きかけていく |
| 31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 入居者間関係が職員間でも把握できている。孤立しないように何をしている時にトラブルになるのかを考え、刺激を与えない、干渉しないよう見守る。入居者間関係が上手くいっている場合、職員が介入しないように配慮している。 | ○ | 自分の事だけになりがちだが、他者を思い合える気持ちになれるような雰囲気づくりをしていく。 |
| 32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 他事業所へ、移られた方の状態把握は、面会に出掛けて、理解しているが、出掛けて来れる状態ではない。 | ○ | 入居者が混乱しないか心配な部分があるが、できる限り見守っていきたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|--|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の生活の中で、何気なく話す入居者の本音をきき、家人にそれとなく伝えている。 | ○ 入居者間や入居者と職員間の会話のなかで、把握していく。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 初回時にプライバシーに配慮しながら情報を集めている。生活の中でお茶を飲みながら、話を聴いている。昔の職場の同僚が面会時に、その人なりについてお話をしてくれる。 | ○ 穏やかな生活を送るためには、その人らしさやその人を知る努力をしていきたい。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 生活リズムを理解し、毎日の生活で何かが昨日と違う事に、気付き情報を職員間で共有している。できる事を見守り、教えてくれる事に感謝の言葉を添え、意欲を引き出し、役割を持つ事で自信を持ち、生き生きとした表情を見せてくれている。 | ○ できる事の自信を取り戻し、意欲を引き出せるよう一人一人把握していく |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 家人に状態について報告し、家人や本人にも希望を聞いている。カンファレンスに家人の参加や本人にも参加してもらっている。介護計画を本人にも説明し同意を得ている。普段の何気ない会話の中で、入居者の気持ちを聞き取っている。 | ○ 入居者が希望している事ができるか、家人にも相談し協力してもらっている。入居者全員の家人から理解していただけるよう努力していく。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 入居者の状態変化にともない期間にとらわれず、変更している。家人には、面会時に、説明し要望を聴き理解して頂き、協力してもらっている。家人や本人にもカンファレンスに参加していただき、希望を聴き状態にそくした介護計画を立てている。 | ○ 状態変化にともない、現状に添った介護計画の変更をしていく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|--|
| 38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 身体の状態やアクティビティに参加した時の表情、入居者が言った言葉を記入し、介護計画のサービス内容の進み具合を個人ケースに記入、日々の介護計画の評価を熱計表に記入している。 | ○ | 日々の状態変化にもとずいて、モニタリングし、再アセスメント介護計画の変更につなげていく。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 当事業所は、介護保険法に基づく多機能性を有しはしないが、一時的な入院における居室の確保と利用者が不安なくホームでの生活がおこなえるよう支援している。 | ○ | 医療連携加算の指定をうけていないが、実質的な医療連携体制をすすめていく |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 中央高校のボランティアに来てもらい交流を図っている。年2回の消防訓練の実施や警察と連携を図り何かあれば対応できる体制ができている。 | ○ | 地域ボランティアと協同していく |
| 41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 公民館で開催する日本舞踊をみるため、公民館に出向き、建物の段差や便所の確認等民生員の協力を得た。中央高校の芸術祭に参加している。 | ○ | 研修時に他事業所のケアマネジャーと意見を交換し情報を集めている。 |
| 42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 須崎の包括支援センターと連絡を取り合いながら、直面している問題の相談や家人の状態確認等お願いしている。高知市東部保健センターの包括支援センターとも運営推進会に参加して頂き関係が築けている。 | ○ | 状態について報告し相談しやすい関係をつくる。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|------------------------|--|
| 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | ○ | <p>入居前には、情報提供書を頂き、受診時には日々の状態について報告し医療機関とみつに連絡をとりあう。</p> |
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> | ○ | <p>相談し連携していく。</p> |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> | ○ | <p>いつでも相談でき、入居者や家人や職員が安心して生活できる関係をつくる</p> |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> | ○ | <p>医療機関から身体面だけでなく、精神面等細かく指示をうけながら、ホームでの生活が継続できるのか入院時から検討していく</p> |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | ○ | <p>重度化や終末期の有り様は一人一人内容が違っているので、より細かく対応できるよう意志の疎通を図っていく。</p> |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | ○ | <p>重度化や終末期の有り様は一人一人内容が違っているので、より細かく対応できるよう意志の疎通を図っていく。</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|---|------------------------|--|
| 49 | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | ○ | よりよい機会をとらえて模索していきたい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | ○ | 職員間で話し合いを持ち個人の尊厳について守られているか確認する。 |
| 51 | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | ○ | 一人一人の意志を尊重し実現に向け努力する。 |
| 52 | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | ○ | 無理のないように見守り、孤立しないよう支援するいまのままペースで生活を見守っていく。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | ○ | 今の状態が維持できるよう見守っていきたい |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--|------------------------|---|
| 54 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | ○ | <p>畑で採れた野菜を手に取り新鮮感動し、野菜についている虫をみて驚いた表情をする。じゃが芋でポテトサラダやカレーやコロッケを作り食欲もわき触れる、食べる、つくるを感じてもらう。</p> |
| 55 | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | ○ | <p>楽しみ事を増やす、本人の満足につなげていく</p> |
| 56 | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | ○ | <p>排泄のパターンをしり、言葉がけを行なう</p> |
| 57 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | ○ | <p>本人の意志を尊重しながら入浴支援をおこなっている</p> |
| 58 | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> | ○ | <p>寝つきの悪い方に、牛乳を暖め準備する。体調に配慮した言葉がけや生活習慣や性格を把握し対応していく</p> |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | ○ | <p>職員の満足にならないよう表情や感情を感じ入居者の満足につなげたい。</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|---------------------------------------|
| 60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 管理できる入居は、自分で持っている。混乱される方は、ホームが管理している。買い物に出掛け支払いができる方は、自分で支払い見守っている。 | ○ | 管理できる方は、自分で持つ、置き場所がわからなくなる方もいるので、見守る。 |
| 61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気や体調に配慮しながら季節を感じてもらい日常的な散歩や1階におりたり、ベランダに出たり、畑に行ったり気分転換を図っている。個人の希望も取り入れながら、スーパーや大丸にも出掛けている。 | ○ | 体調に配慮し個人の好みにあわせて意欲的な生活が送れるよう支援する |
| 62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 本人が希望している外出先に各月に家人とホーム交互に出掛けている。また、家人と一緒にさつき展にもでかけて、他者との関係についても感じていただける機会ができた。 | ○ | 家人にも、入居者の希望を伝え無理なく協力して頂くよう話し合いを続ける。 |
| 63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | レク活動で外出した際に写真をとりはがきをつくり、家人や友人に送っている。曜日を決め定期的に電話をかけてもらったり、希望者には電話をかける支援をおこなっている。 | ○ | 入居者の希望を聞きながら、自然な形で支援する。 |
| 64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 落ちついた状態で面会できるよう居室やソファ等配慮し気を使われる入居者もお茶やお菓子を準備している。 | ○ | 写真を見てもらったり日々の状態について話して理解して頂く。 |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束に対象者は今のところ、入居されていないが、管理者は「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解できている。 | ○ | 管理者はおりにふれ身体拘束の話をしている。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|--|
| 66 | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | ○ | 継続して日中は、鍵を掛けない自由な生活を支援する |
| 67 | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> | ○ | 夜間各フロアで定期的に巡視し、他フロアにも時間毎に巡視して、情報の共有や連携を図っているが、申し送りの徹底を図る。 |
| 68 | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> | ○ | 必要時には、いつでも使えるよう状況や入居者の状態に応じ対応していく |
| 69 | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> | ○ | リスクに対する勉強会を母体病院から看護職員を交え行なっている。事故を想定した勉強会を行い緊急時にそなえるようにする。 |
| 70 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> | ○ | 緊急時の対応については、勉強会を予定している。 |
| 71 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | ○ | 高知市の防災担当の方に具体的な情報を提供していただく |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|------------------------|--|
| 72 | <p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> <p>家人には、面会時や電話で状態を報告し、予測として起こりうるリスクについて伝えている。先生からの話も伝えている。</p> | ○ | 介護計画にもふれ、リスクマネジメントにつなげたい |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 | <p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>主治医からの情報を得て、起こりうるリスクを家人に説明し対応策を話し合っている。家人の意向や状態を把握しその都度主治医に相談し家人にも報告している。</p> | ○ | 入居者の少しの状態変化を見逃さずに対応できるよう、普段から職員の気づきを報告しやすい雰囲気作りをおこなっていく。 |
| 74 | <p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>個別にファイルして、処方箋や病状についての説明をいれている。処方について、熱計表に詳しく記載している。状態変化により処方が変わるとその都度、送申簿に記載し申し送りを徹底している。</p> | ○ | さらに、状態変化に伴い処方に変更があれば、職員に徹底して申し送っていく。 |
| 75 | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>食材に繊維の多い物や乳製品を取り入れて食事面に気をつけている。毎日の体操散歩を取り入れ自然排便を促している。</p> | ○ | 排便を朝の掃除時に確認している状態より主治医に報告し処方の変更をお願いしていく |
| 76 | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>食後の口腔ケアの言葉かけが習慣づきできている方と自尊心に配慮して言葉かけしない人把握しておこなっている。週1回の義歯洗浄と歯間ブラシの支援を行なっている。</p> | ○ | かみかみ百歳体操の研修時に、口腔内の衛生について理論を勉強したので、新人職員に対しても伝えていく |
| 77 | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>栄養士の献立をたてた食事内容になっている。食事量や水分量をチェックし記入している。状態変化に伴い、各個人に応じて栄養士に1日に水分量を計算してもらっている。</p> | ○ | 状態変化時に必要に応じて相談していく |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------------------------|---|
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | 起こりうる可能性のある感染症に関して細かいマニュアルを作成し感染予防に努めている。インフルエンザの予防接種に関しては、入居者家人の同意をえて職員を含めおこなっている。ノロウイルス対策としてペーパータオルの使用し、週1回床を専用洗剤でふき、毎日手擦りをふいている。 | ○ | 感染症の発生する時期には、マニュアルを読み返し学習している。感染症に関する勉強会に参加予定 |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | マニュアルを読み職員に徹底している。食品の取扱いについてマニュアルを作り目につくところにはりだしている。冷蔵庫の中の掃除やまな板を食洗機で洗う。 | ○ | 高知鏡川病院の管理栄養士が勉強会を開く予定 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 花のある明るい玄関作りをしている。玄関先にはベンチを置き、季節の花を生け季節感を感じて頂いている。 | ○ | 玄関の壁を有効に使い作品などを展示していく |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者の嗜好や興味のあるものをすぐ、手にできるよう置いている。畑やベランダから季節の花をとり、テーブルに生けてもらっている。5月に畑で収穫したじゃが芋でコロッケやカレーポテトサラダ等6月うめジュースやしそジュース季節感を味わってもらおう。 | ○ | 入居者の負担にならないよう音や臭い等、体調や表情確認し配慮しながら気をつけていく |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ベランダとフロアのカウンター前に椅子を準備し一人で過したり仲の良い入居者や職員と会話を楽しめる空間を準備している。 | ○ | 状態変化により危険と感ずる場合は、環境面に配慮しながら検討していく |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) | |
|-------------------------------|---|--|---------------------------------|--|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている | 入居前に使っている家具や衣類を持参して頂いたり、 家人と相談しながら行っている。面会時に家 人と写真を取りメモリーボックスに入れている。 | ○ | 必要に応じて家人に相談し揃えていく |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている | 西側は西日が入るため、フィルムをはり光の調 節をおこなっている。居室やフロアに温度計を設 置し室温調整をおこなっている。1年を通して時 間を決め、換気をしている。 | ○ | 常に室温に気を付け足り、換気をして、体調の変 化がないか確認していく |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している | 入居者の状態変化に応じて家人にも相談し使いや すい状態にしている。自分でできる事を見守り喜 びを感じ意欲や自信を見つけ出していく。 | ○ | 入居者の状態を確認しながら、職員間でも話し合 いを持ち危険と感ずる場合、家人にも相談し自立 支援に向け配慮していく |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している | 今のところ環境整備により混乱される方は、入居 されていないが状態を把握し職員間で話合っ ていく。 | ○ | 職員の気づきをやしない入居者の状態把握がで きるよう努めていく。 |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている | 畑に出掛けえんどうの収穫や草引きができる環 境をつくっている。夕方玄関先のベンチに座りお隣 を子供さんとの会話を楽しんでいる | ○ | 畑に出掛けたり、玄関先で地域の方とも触れ合 え気分転換もはかれ表情よく過ごされているのでさ らに楽しみ事を増やしていく。 |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
|------------------|--|-----------------------------------|---|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 |
| | | ○ | ③たまに ④ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
|-----|---|-----------------------------------|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働いている | ○ | ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

入居者がエルダー介良での生活の中で、困っていることやお願いしたいこと等、お互いが話ができる雰囲気づくりができ、家人をまじえ協力体制ができている。入居者を支えあい連携できる関係ができている。